宮城舞台技術者協会 部会長・事務局ミーティング　議事録

日時	2021 年　7 月　6 日 13 時 00 分 ～　　時　　分	場所	株式会社東北共立　ミーティングルーム
議題	・アンケートについて ・部会の活動について ・会員間の情報交換について ・SDGsについて		

出席者	岸浪行雄　　橋本徳郎　　菊地孝　　石井忍 伊藤幸夫（事務局） 部会長、事務局 5名
決定事項	■次回部会長ミーティング開催日：８月上旬頃開催したい（日程は未定）
会議内容	■アンケートについて 内容等精査。事務局にて修正を行い、次回のミーティングにて確認後、会員へ配布～回収としたい。 ■各部会の活動について 各部会からの提案の中で、比較的実行に移しやすい「講習会の開催」について、形を作っていきたい。 開催時期と講習内容を決定していきたい。年間で１～３本程度開催か？ ・講習内容として「足場講習」「フルハーネス講習」「定電圧講習」など ・現状、機器の取り扱い等の資格や認定を受けれる講習のみの実施 ・講師の派遣について – 全照協や音事協等に依頼した場合、それぞれの協会員と非協会員とで、金額が変わってくる。 費用等どのようにするか。 ■会員間の情報交換について 昨年2月26日の政府からの活動自粛要請から早1年半。コロナ当初と現在とで、会員の当協会に対する期待等、変わってきたのではないだろうか。コロナ禍に慣れてきた事、仕事が再開し始めた事、具体的にどのような状況であるのか。 仕事が再開してくると会を離れていく人達が増えてくるのではないか。このような人達に何を提案していくことが出来るのか。 大きな目標だけではなく、自分達の実になっていく活動を考えていかなくてはならないのでは。 ■SDGsについて 1つでも取り組んでいきたい。 第２回の運営委員会において山品氏からの提案で、ダメ釘や楽器の弦等の回収。（公文協を通し各会館へ通達？） 事業部会からの提案であるため、事業部会にて素案作成（シンプルに）。その後運営委員会にて内容を精査し、会員へ報告。 （回収方法については、引き続き調べる）

会議内容

■その他

○フリーランスの方の現状はどうなのか？生活は出来ているのだろうか。

→その為のアンケート調査である。

○フルハーネスの購入について

東北共立、若しくは全照協会員経由で共同購入可能か？

全照協会員については、若干の割引があるが、非会員についてはどうか。非会員でも割引があれば、非常に助かるのではないか。

講習会についても、非会員の割引は出来ないものか？（要確認）

○障害者の方々のコンサート等を請け負っている方も多いことから、その方々のバックアップを行なっていくなど、目立つ活動だけでなく、我々が裏方であるという自覚と認識を持って現場に携わるということが、本来の我々の使命ではないか。

弱者と言われる方々へ手を差し伸べられる方法はないのか。

このような活動も必要なのではないか。

健常者は、自分で機会を作れるが、障害を持っている方は自分で機会を作ることは困難である。

空いている会員がローテーションを組んで対応していけるのではないだろうか。

とりまとめて、次回報告したい。